NEC Express5800シリーズ
Express5800/i110Rb-1h

4

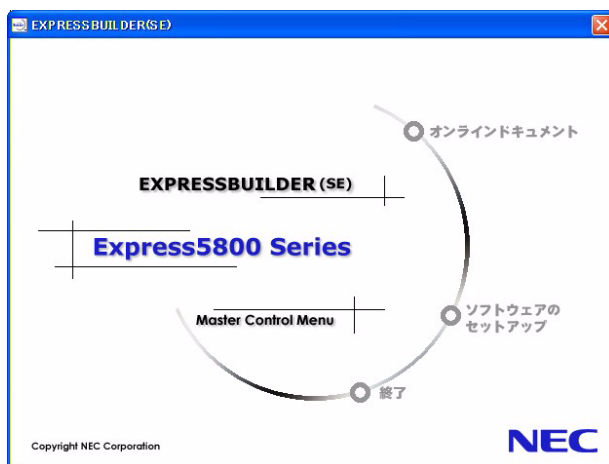
EXPRESSBUILDER(SE)

本装置を保守・管理するための統合ソフトウェアについて説明します。

マスターコントロールメニュー（62ページ）
Windows のAutorun機能で現れるメニューについて説明します。

EXPRESSBUILDER（SE）（63ページ）
本装置の「EXPRESSBUILDER」(SE)について説明します。

マスターコントロールメニュー

Windows(Windows 95以降、またはWindows NT4.0以降)が動作しているコンピュータ上で添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをセットすると、「マスターコントロールメニュー」が自動的に起動します。

システムの状態によっては自動的に起動しない場合があります。そのような場合は、CD-ROM上の次のファイルをエクスプローラ等から実行してください。

CD-ROMのドライブレター :¥MC¥1ST.EXE

マスターコントロールメニューからは、Windows上で閲覧可能なオンラインドキュメントを参照することができます。

オンラインドキュメントの中には、PDF形式の文書で提供されているものもあります。このファイルを参照するには、あらかじめAdobeシステムズ社製のAdobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Reader がインストールされていないときは、Adobeシステムズ社のインターネットサイトよりAdobe Readerをインストールしてください。

マスターコントロールメニューの操作は、ウィンドウに表示されているそれぞれの項目をクリックするか、右クリックして現れるショートカットメニューを使用してください。また、一部のメニュー項目は、メニューが動作しているシステム・権限で実行できないとき、グレイアウト表示され選択できません。適切なシステム・権限で実行してください。

CD-ROMをドライブから取り出す前に、マスターコントロールメニューおよびメニューから起動されたオンラインドキュメント、各種ツールは終了させておいてください。

EXPRESSBUILDER (SE)

EXPRESSBUILDER（SE：Special Edition）は、本装置を保守・管理するための統合ソフトウェアです。

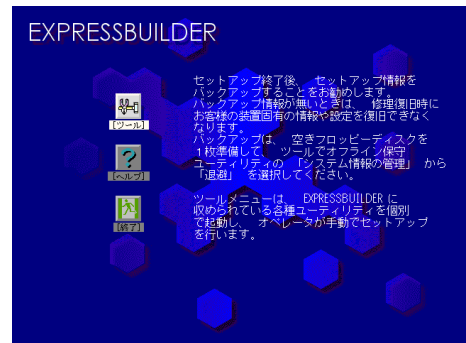
起動方法

本体のDVD-ROMドライブにEXPRESSBUILDER（SE）をセットして、電源をONにすると起動します。

Windowsマシンに EXPRESSBUILDER（SE）CD-ROMをセットすると管理アプリケーションのインストールやドキュメントの閲覧ができる「マスターコントロールメニュー」が表示されます。マスターコントロールメニューについては、この章のはじめに記載しています。併せて参照してください。

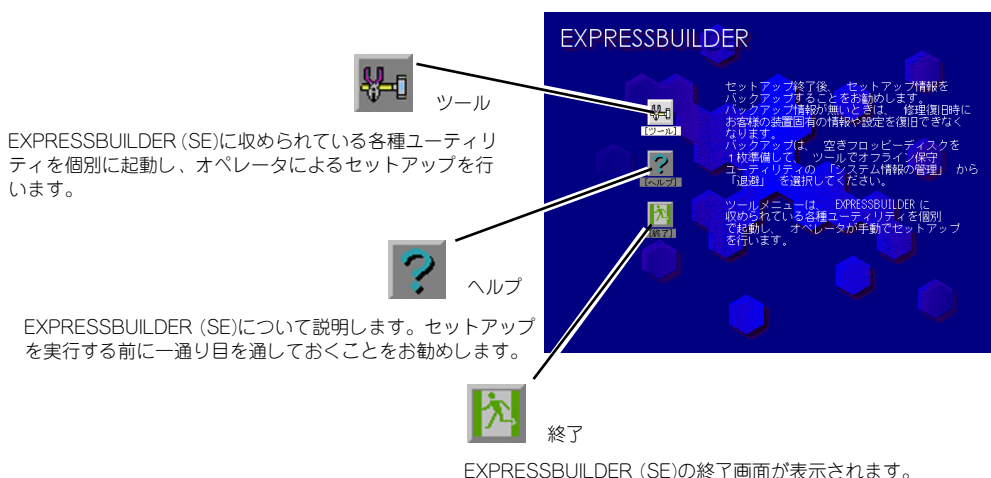
次の手順に従って起動してください。

1. 本体にキーボードとディスプレイ装置を接続する。
2. 本体のDVD-ROMドライブに「EXPRESSBUILDER（SE)」CD-ROMをセットする。
3. CD-ROMをセットしたら、リセットする（<Ctrl> + <Alt> + <Delete>キーを押す）か、電源をOFF/ONして本体を再起動する。

リブート後、EXPRESSBUILDER(SE) トップメニューが表示され、各種保守・管理ツールを実行できるようになります
（詳細は　EXPRESSBUILDER（SE）トップメニュー（64ページ）を参照）。

- 本装置以外のコンピュータおよびEXPRESSBUILDER(SE)が添付されていた装置以外のExpress5800シリーズで起動しないでください。故障の原因となります。
- リモートKVMコンソールでEXPRESSBUILDER(SE)を操作する場合、マウスは使用できません。キーボードを使用してください。
- リモートメディア機能を使用して、「EXPRESSBUILDER(SE)」CD-ROMからサーバーをブートすることはできません。

EXPRESSBUILDER（SE）トップメニュー

EXPRESSBUILDER（SE）トップメニューは各種ユーティリティを個別に起動し、オペレータによるセットアップを行うときに使用します。

EXPRESSBUILDER（SE）トップメニューは以下のメニューで構成されています。

ツールメニュー

ツールメニューは、EXPRESSBUILDER（SE）に収められている各種ユーティリティを個別で起動し、オペレータが手動でセットアップを行います。
また、システム診断やサポートディスクの作成を行う場合も、ツールメニューを使用します。
次にツールメニューにある項目について説明します。
なお、メニュー右横枠の表示は、装置の構成によって異なる場合があります。

- **オフライン保守ユーティリティ**

  オフライン保守ユーティリティとは、障害発生時に障害原因の解析を行うためのユーティリティです。詳細は89ページまたはオンラインヘルプを参照してください。

- **システム診断**

  本体上で各種テストを実行し、本体の機能および本体と拡張ボードなどとの接続を検査します。システム診断を実行すると、本体に応じてシステムチェック用プログラムが起動します。72ページを参照してシステムチェック用プログラムを操作してください。

- **サポートディスクの作成**

  サポートディスクの作成では、EXPRESSBUILDER（SE）内のユーティリティをフロッピーディスクから起動するための起動用サポートディスクやオペレーティングシステムのインストールの際に必要となるサポートディスクを作成します。なお、画面に表示されたタイトルをフロッピーディスクのラベルへ書き込んでおくと、後々の管理が容易です。

  サポートディスクを作成するためのフロッピーディスクはお客様でご用意ください。

  - ROM-DOS起動ディスク

    ROM-DOSシステムの起動用サポートディスクを作成します。

  - オフライン保守ユーティリティ

    オフライン保守ユーティリティの起動用サポートディスクを作成します。

  - システムマネージメント機能

    BMC（Baseboard Management Controller）による通報機能や管理用PCからのリモート制機能を使用するための設定を行うプログラムの起動用サポートディスクを作成します。

- **各種BIOS/FWのアップデート**

  インターネットの「8番街」で配布される「各種BIOS/FWのアップデートモジュール」を使用して、本装置のBIOS/FW（ファームウェア）をアップデートすることができます。「各種BIOS/FWのアップデートモジュール」については、次のホームページに詳しい説明があります。

  http://www.express.nec.co.jp/care/index.html

  各種BIOS/FWのアップデートを行う手順は配布される「各種BIOS/FWのアップデートモジュール」に含まれる「README.TXT」に記載されています。記載内容を確認した上で、記載内容に従ってアップデートを行ってください。
  「README.TXT」はWindows のメモ帳などで読むことができます。

  BIOS/FWのアップデートプログラムの動作中は本体の電源をOFF にしないでください。アップデート作業が途中で中断されるとシステムが起動できなくなります。

- **システムマネージメント機能**

  EXPRESSSCOPEエンジンによる通報機能や管理用PCからのリモート制御機能を使用するための設定を行います。

- **ヘルプ**

  EXPRESSBUILDER（SE）の各種機能に関する説明を表示します。

- **トップメニューに戻る**

  EXPRESSBUILDER（SE）トップメニューを表示します。